

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の数	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
下北山村	学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域の人口減少や高齢化により、地域学校協働活動に参画する地域人材等が年々減少しており、地域学校協働活動の継続が難しい状況になりつつある。	・社会教育委員会等において、地域学校協働活動における地域人材を確保するための議論を行った。 ・子どもたちの体験学習の場を設けたいという地域住民の意見を元に教室の新設を検討した。	社会教育委員会等での議論を受け、本村のホームページにて地域学校協働活動に参画していただける地域人材を募集する。また、県のCSアドバイザーの派遣を要請し、学校と地域の連携・協働の必要性について、地域人材の理解を深め、地域学校協働活動に繋げる。	地域学校協働活動に参画する地域人材が増え、地域学校協働活動が継続できる体制を整っていく。	地域学校協働活動に参画する1ヶ月あたりの地域住民の数	15	人	20	17	地域学校協働活動に参画していただける人材を見つけることが難しい。人口減少や高齢化社会で働き盛りの人材に役割が集中している中、人材探しが継続できている状況。高齢者でもできるか、お力をお借りして行く必